

ふれあい新聞

第47号 平成10年7月1日 ー田中野田町内会ー

平成10年度定期総会終わる

本年度の定期総会は、去る4月19日公会堂で開催され、本年度の役員(10・11年度)・予算・事業方針等が、原案どおり承認された。その内容は総会前各家庭に配布した冊子「平成10年度定期総会要領」をご覧ください。

子ども会2チームが優勝

本年度(5月24日)市西部四小学区合同の西陵御吉杯の大会で、田中野子ども会チームは、男子ソフトボール(写真上)と女子ポートボール(写真下)が揃って優勝しました。参加チームはそれぞれ22と15でした。チームの皆さんおめでとう。育成会の方々ご苦労さまでした。今後も期待しています。



グランドゴルフをやりませんか

田中と田中野田合同で、今年の2月8日に御南中学校で、第一回グランドゴルフ大会が行われました。雪まじりの寒風の中での大会でしたが、150人も参加がありました。本年度も三世代交流及び両町内の親睦を目的として、下記の要領で実施されることになりました。

主催	田中町内会・田中野田町内会
時期	11月下旬か12月上旬ごろ
場所	御南中学校グランド

田中野田にはグランドゴルフの道具がなく練習ができませんので、町内会で少し購入させて頂きました。ご利用ください。とりあえず町内会長宅に置いてありますので、町内の方ならどなたでもお使いください。

なお、蛇足ではありますが、どなたかが発起人になって会員を募って、田中野田にもグランドゴルフ愛好会をつくりませんか。

《特集》 “花いっぱい”

岡山市の「花いっぱい運動」の成果でしょうか、最近市街や家庭の庭先で、いろいろな花が四季を通じて一段と多く見られるようになりました。とくに、各種プランターで育てられた花が、歩道脇や空地、家庭の玄関・庭先など、あちこちで目につきます。今はちょうど花の季節です。そこで本紙では、先の39号(平成7年7月)に続いて、本号を再度「花の特集」とし、ここに2編の寄稿をお願いしました。さらに一段と花いっぱい運動を駆け、みんなで美しい町にしたいものです。

花と私

(7組) 原田 信子

庭のある今の家に来て3年が過ぎました。花は昔から大好きだったので、花と暮らせる毎日がとても幸せです。

初めの頃は出かけるたびにひと鉢、ふた鉢買って帰っては、庭に植えて育てていました。今では数も増え、色々な花がいっぱい咲いています。季節の花が咲き乱れ、道行く人が立ち止まり「きれいね」と、声をかけてくれることも度々あります。

最初は花の名前も育て方も知らなかったので、何度も枯らし、花にはかわいそうな思いをさせました。「水が多かったのかな…」「肥料が足りなかったのかな…」自分で本を読んでは色々調べたりもしました。

私の一日の始まりは朝花に水をやることからです。今日も元気に咲いてくれるかなとつぶやく毎日です。今はピンクや紫のサフィニアがきれいに咲いています。ハイビスカスやペチュニア、日々草などもこれからの季節、きれいに庭を飾ってくれることでしょう。

花の世話をしている時は、心がおだやかになり、花からいっぱい元気をもらっているような気持ちになります。一年中花の絶えない庭にしようと思っています。

私の花づくり

(2組) 中尾 光子

岡山市が奨めております「花いっぱい運動」は2年目を迎え、近くを歩いても道沿いや家々の庭先に、色とりどりに咲く花が心を和ませてくれます。特に春から夏にかけては美しい草花の多い季節と言えましょう。

昨年植えました向日葵・マリーゴールド・コスモスが、今年はこぼれ種で自然に生え育っていて、いま花が咲きかけています。我が家の畑や鉢の草花は、瓶に挿したりお供えにする程度の、育て易いものばかりですが、種を蒔いたり株分けをしたり、或は挿穂から育てて咲いてくれるのに喜びがあります。しかし、この春晴天の続く時、菊の挿穂に水を与え過ぎ、根腐れをさせてしまいました。これは過保護でした。また半日陰がよいらしい振じ花に陽をあてすぎて、元気をなくしかけたこともありましたが、今年はその種が好きどころに飛んだのでしょうか。庭の木陰に生えて野草らしい逞しさを見せています。枯れはてたと思って木陰に置いていた鉢のアツ桜が、長雨の後思いもよらず、緑の葉を覗かせていて、草花の強い生命力をここに感じました。

知人から頂いたもの、花に魅せられて買ったもの、挿穂したもの等々、1株の花にもそれぞれの思い出と愛着があります。いま庭の隅に白い百合が咲き、いい香りを放っておりますが、ことさら手入れをしなかったのに、季節を違えず咲いてくれるところに、自然の有難さを思います。

夏は水やりに、冬は寒さから花を守るのに大変ですから、鉢植えは増やさないとはいっているものの、可憐な草花に出合うとついつい鉢が増えてしまいます。自分で植えたのにその花の名前を思い出せないこともあるこの頃ですが、草花を育てることは老いた私の楽しみなのです。